

記載例

連絡先 方
電話 (090) 0000-0000 番
自宅・勤務先・呼出 (携帯電話)

出生届
令和〇年〇月〇日届出

(宛先) 鈴鹿市長

受理	1	年	月	日	発送	年	月	日
第					第			
送付	1	年	月	日	長印			
第								

書類調査 戸籍記載 記載調査 調査票 附票 住民票 通知

父母が婚姻中であるときは「嫡出子」にチェックしてください。

(1)	子の氏名 (よみかた) (外国人のときはローマ字を付記してください)	すずか 氏 鈴鹿 一郎	いちょう 名 一郎	父母との 続柄	<input checked="" type="checkbox"/> 嫡出子 (長 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女) <input type="checkbox"/> 嫡出でない子
(2)	生まれたとき	令和〇年〇月〇日	<input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後	〇時〇分	
(3)	生まれたところ	三重県鈴鹿市山本町747 番地 18の2			
(4)	住所 (住所登録をする)	三重県鈴鹿市神戸一丁目 番地 18の2 アパート・マンション等 ハイツ鈴鹿B棟101号室			
(5)	父母の氏名 生年月日 (子が生まれたときの年齢)	父 鈴鹿 太郎 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 6年12月10日 (満〇歳)	母 鈴鹿 花子 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 10年5月8日 (満〇歳)		
(6)	本籍 (外国人のときは国籍だけを書いてください)	三重県鈴鹿市神戸一丁目 番地 18			
(7)	同居を始めたとき	令和5年6月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)			
(8)	子が生まれたときの世帯のおもな仕事と母	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input checked="" type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯			
(9)	父母の職業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください) 父の職業 母の職業			
その他	婚姻日 年 月 日				
届出人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 父 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人() <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産師 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長 住所 <input checked="" type="checkbox"/> (4)欄と同じ 番地 番号 本籍 <input checked="" type="checkbox"/> (6)欄と同じ 番地 番号 <input checked="" type="checkbox"/> (6)欄と同じ 筆頭者の氏名 署名 鈴鹿 太郎 印 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 6年12月10日生 (※押印は任意)				

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
子が生まれた日からかぞえて14日以内に提出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、かな、ひらがなで書いてください。子が外国人のときは、原則かなで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。

よみかたは、戸籍には記載されません。住民票の処理上必要ですから書いてください。

□には、あてはまるものに☑のようにするしをつけてください。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくられますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

◎母子健康手帳と届出人の印をご持参ください。

◎届出人は原則として子の父または母です。届出人が署名押印したあと、届書を持参する方は親族、その他の方でもかまいません。

出生証明書は医師や助産師が記載しますので、「子の氏名」について空欄であれば、そのまま何も記入しないでください。

(消えるボールペンで記入しないでください。)

出生証明書

記入の注意

子の氏名	男女の別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
生まれたとき	〇年〇月〇日	<input type="checkbox"/> 午前 <input checked="" type="checkbox"/> 午後 〇時〇分
出生したところの種別	1病院 2診療所 3助産所 4自宅 5その他	
出生したところ及びその種別	鈴鹿市 山本町747 番地 18の2 (出生したところの種別1~3) 施設の名称 鈴鹿産婦人病院	
体重及び身長	体重 3,000 グラム	身長 50.0 センチメートル
単胎・多胎の別	<input checked="" type="radio"/> 単胎 <input type="radio"/> 多胎 (子中第 子)	
母の氏名	鈴鹿 花子	妊娠週数 満40週 1日
この母の出産した子の数	出生子 (この出生子及び出生後死亡した子を含む)	1人
	死産児 (妊娠満22週以後)	0胎
	上記のとおり証明する。 令和〇年〇月〇日	
1医師	(住所) 鈴鹿市山本町747 番地 18の2 鈴鹿産婦人病院 (氏名) 院長 神部 加寿子	
2助産師		
3その他		

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の方で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように1、2、3の順序に従って書いてください。

*出生届の手続きについて、悩み困りごとがあれば、お近くの市町村又は法務局にご相談ください。
出生届を届け出なければ、その子の戸籍が作られず、不利益を被るおそれがあります。
詳しくは法務省のホームページをご覧ください。 [無戸籍 法務省](#)